

これからの図書館を考える 市民ワークショップ

「これからの図書館」をどう捉え、何を求め、何を築いていくのか。市民の声を聞き、市民と共に考え、市民と共に築いていく。市民の声を聞き、市民と共に考え、市民と共に築いていく。

《図書館課》

図書館づくり

令和5年11月23日（木・祝） 舞鶴市

～これからの図書館についてみんなで考えよう～

今後の図書館サービスや運営手法、全市域への図書館サービスの構築など、今後も長く愛し続けてもらえるための図書館を市民の皆さんとともに考える機会とするため開催するもの。



頼れる友人
暮らし・学び

社会・つながる
情報の窓

都市の広場
出会い・地域

- 図書館協議会設置 (H30.4) 現状と課題、将来像について協議
- 協議会からの提言 (R2.2) 課題解決型図書館への転換を提言
- 準備部会 (R3.11~R4.3) 3回開催 (現状と課題の確認)
- 図書館基本計画策定審議会設置 (R4.4~R4.9)
- 第1回審議会 (R4.4.21) 舞鶴市図書館基本計画の策定を諮問
- 市議会講演会 (R4.4.21)
- 第2回審議会 (R4.5.19) 本市図書館の達成したい目標値設定
- 第3回審議会 (R4.6.23) 守山市立図書館、愛知川図書館視察
- 第4回審議会 (R4.7.13) 基本計画原案審議
- 第5回審議会 (R4.8.8) 答申案確認
- 審議会答申 (R4.8.8)
- 市民フォーラム (R4.8.20)
- パブリックコメント (R4.10.21~11.20)
- 基本計画策定 (R4.12)
- 市民フォーラム (R5.5.13)

I. 課題解決型図書館への脱皮

高度な専門情報を蓄え、地域社会・地域生活に役立つ、課題解決型図書館

II. 多様な子どもたちや社会的弱者など、あらゆる市民に対するサービスの展開

多角的な包摂サービスの展開

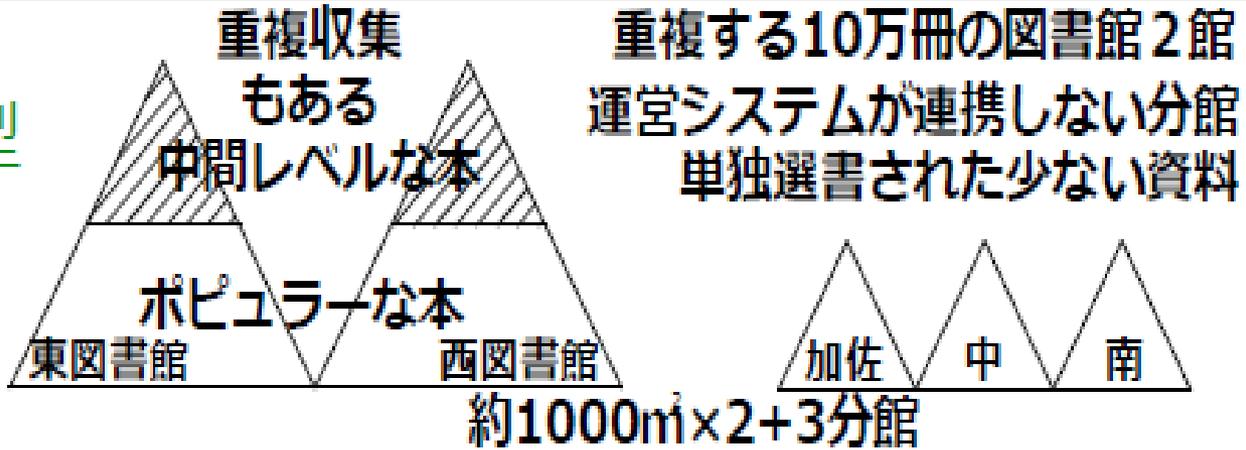
III. 全市域へのサービス網の構築

舞鶴市の全域へサービスがつながる、地域格差を感じさせない図書館システムへの再編

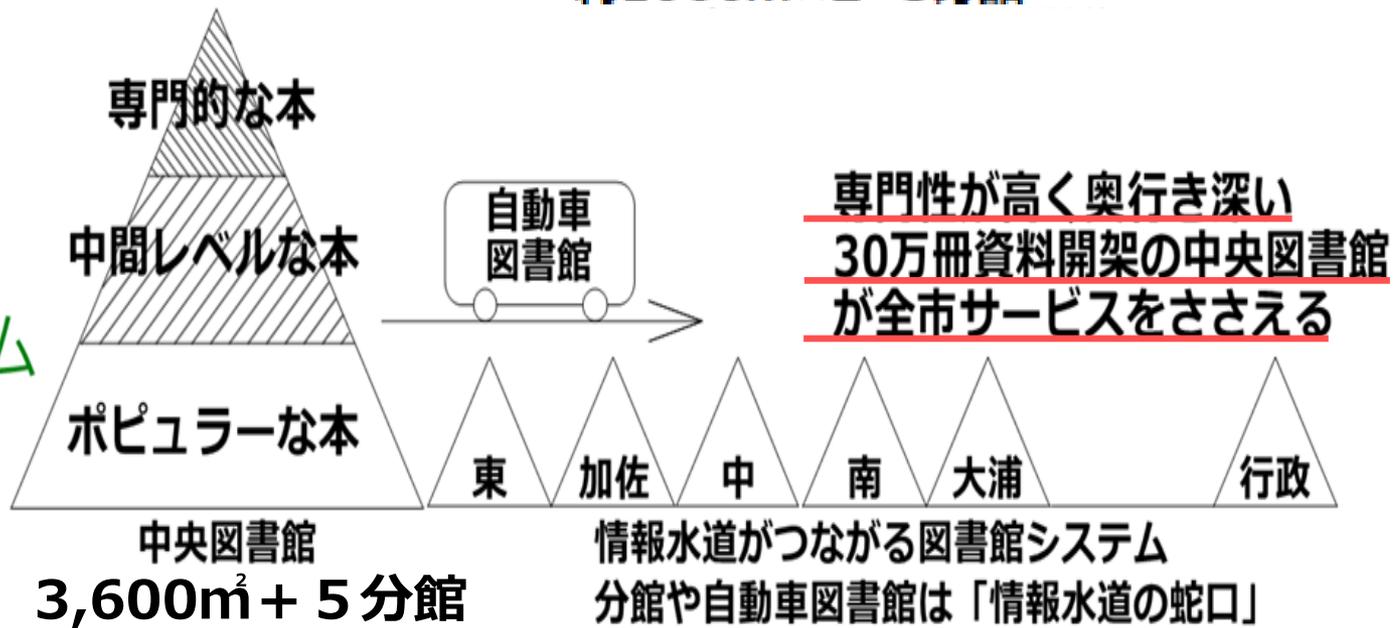
舞鶴市図書館システムの再編

- 図書館システムのセンター化
- 人、施設、資料の集約・統合
- 図書館サービスの企画・運営・管理力の強化（司書の能力向上）

これまでの2極型
図書館システム



これからの
中央図書館と
つながる
図書館システム



図書館の
魅力拡大

建設候補地：JR西舞鶴駅東口



中央図書館概算事業費	約38億円
[内訳]	
中央図書館建設費 (図書費、備品等含む)	約30億円
北側緑地整備費	約1億円
用地購入費	約6億円
除却工事費	約1億円
財源内訳 (予定)	
国庫支出金 (国土交通省)	約17億円
地方債	約16億円
一般財源	約5億円

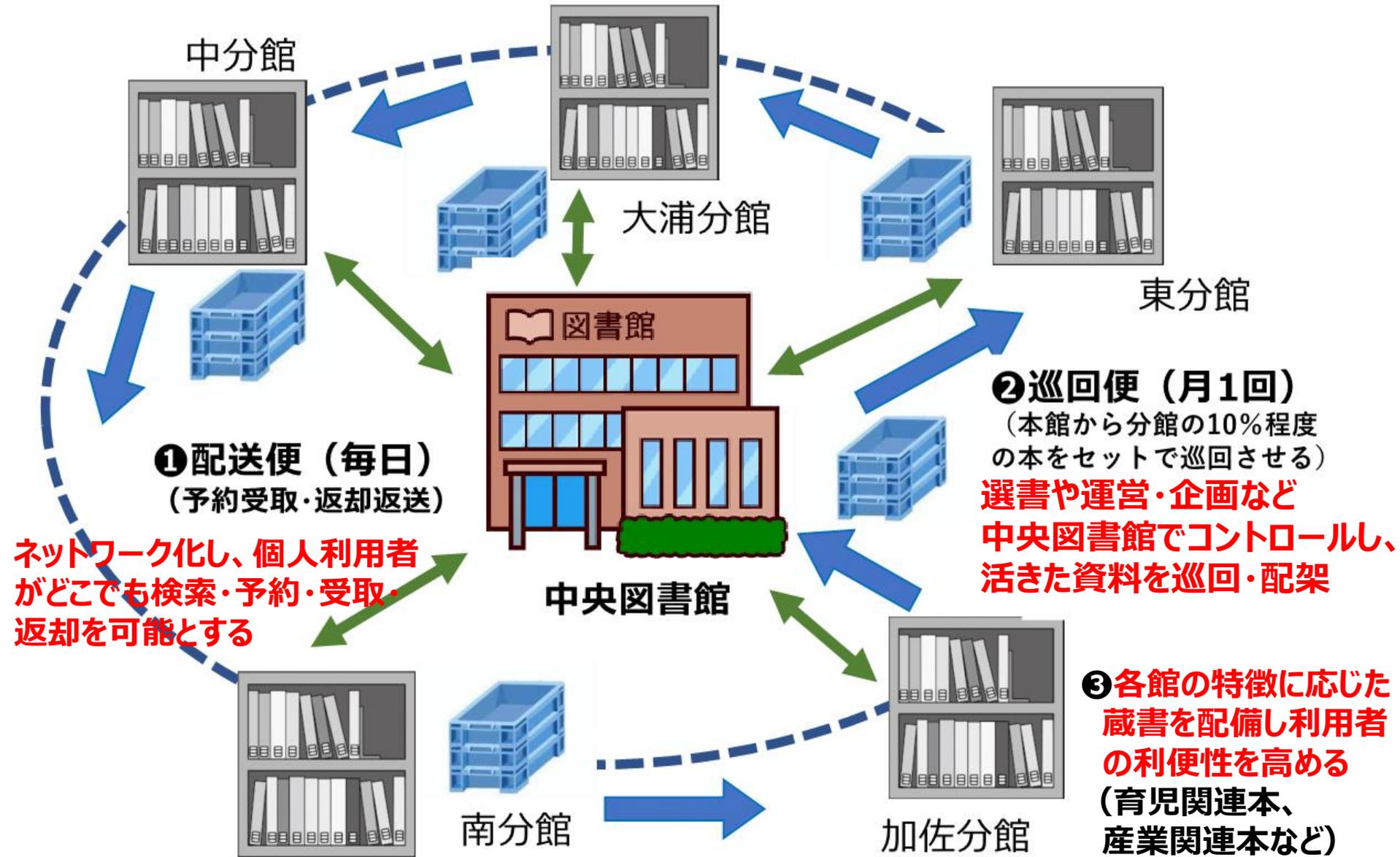
《中央図書館候補地イメージ》

・延床面積：3,600㎡

【今後のスケジュール (案)】

令和5年度	基本設計・ワークショップの開催 (～令和6年度)
令和8年度	整備工事 (～令和9年度)
令和9年度末	中央図書館開館 (分館ネットワーク構築・サービス開始)

分館機能の充実【ネットワークイメージ】



3 地区

(南地区・加佐地区・中地区)

＜南公民館・加佐公民館・中総合会館＞

5 地区へ

(東地区・大浦地区に
分館を新設)

■ 新分館候補施設

(施設選定については、市民意見も参考に市で決定)

＜東地区分館候補施設（下記 2 施設）＞

＜大浦地区分館候補施設＞



商工観光センター



まなびあむ



大浦会館

現在の東・西図書館については、中央図書館への統合に伴い、廃止・除却

